

Town Gallery

TOWN GALLERY

長さ225m!長巻寿司大会(11月4日)

久田下原の苦田ダムで、ダムの幅と同じ長さの巻きずしを作る長巻寿司大会が開かれ、県内外からの応募で集まった492人が参加しました。

国土交通省苦田ダム管理事務所と鏡野町などで行く水資源活用「奥津湖交流イベント」実行委員会が主催し、奥津湖の新たな魅力づくりの一環として企画されたこの大会では、「苦田ダムで225mの長巻寿司を作ろう!」を合言葉に、参加者はダムの堤体に整列し、巻き簾(す)に敷かれた海苔の上に、すし

飯約250キロ、シイタケ約39キロ、アスパラガス1148本、卵焼き1025本、アナゴ17キロの具を一列に並べ、スタッフのかけ声に合わせて一気に巻き上げました。

無事完成した長巻寿司を全員で持ち上げると、参加者からは大きな歓声と拍手が起こりました。



富地域親子クラブ「すみれ会」でアンパンマン巻き寿司(11月11日)

富地域の親子クラブ「すみれ会」が富ふれあいセンターで開催されました。今回は地域の愛育委員、栄養委員と合同で親睦を深めました。

子どもたちは、愛育委員さんに紙芝居やおもちゃで遊んでもらい、親と参加できる子どもは、栄養委員さんの指導のもと、大きなアンパンマン巻き寿司に挑戦しました。口、鼻、ほっぺ、目と順番に載せていき2人掛かりで直径12センチほどの太巻き寿司が完成しました。切ってみると、アンパンマンの顔が出てきて、大きな歓声と拍手が聞こえてきました。



日本赤十字社金色有功章受章(10月23日)

岡山市で開催された日本赤十字社岡山県支部創設120周年記念式典において、日本赤十字社から「鏡野町赤十字奉仕団」及び「鏡野町奥津赤十字奉仕団」が、長年にわたり赤十字事業に貢献されたことに対し、金色有功章を受章されました。

第2回かがみのハーフマラソン&健康マラソン大会(11月11日)

第2回かがみのハーフマラソン&健康マラソン大会が開催されました。

旧鏡野町で開催されていた「かがみの健康マラソン大会」から通算20回目となったこの大会には、県内外から612名が参加し、午前10時のハーフマラソンのスタートを皮切りに、3キロ・5キロ・10キロコースにそれぞれの選手が走り出し、冷たい風が吹く中、紅葉が色づいた万葉のみちを走り抜けました。



100歳訪問(11月19日)

小田志づ子さん(大町)が満100歳を迎えられ、山本美作県民局健康福祉課長、山崎町長らが自宅を訪問し、ご家族やご近所の方に囲まれる中で、記念品が贈られました。

鏡野町では12番目の100歳となられた小田さんは、現在自宅での相撲観戦を楽しみにされており、長寿の秘訣を尋ねると、「家族が大事にしてくれるから長生きできた。」と笑顔で答えてくれました。

